

通学路の安全対策実現!! 出羽小学校

出羽小学校の通学路の安全対策として、かねてから懸案事項の出羽小学校東側、七左エ門通りと谷中通りの交差点（かにや商店さん角）の歩道の拡幅が実現しました。

信号待ちをする児童の待機場所として、これまでもお店の方にはご協力を頂いておりましたが、この度、家屋の建て替えに伴い、「子どもたちのために安全な通

学路を」と歩道拡幅のご協力のお申し出を頂き、実現することができました。そのお気持ちとご協力に改めて心から感謝申し上げます。

昨年12月定例議会で補正予算が計上され、拡幅工事も4月の新学期に間に合いました。今後とも通学路をはじめ児童・生徒の安全対策実現に向けて、積極的に取り組んでまいります。



会派行政調査報告 2月5日から7日まで会派「立憲民主党と無所属の会」の行政調査に行ってきました。

2月5日

奈良県奈良市 奈良県外国人観光客交流館「猿沢イン」
災害時における外国人福祉避難所開設に関する協定締結について

2月6日

京都府京都市 京都市福祉ボランティアセンターについて

2月7日

静岡県藤枝市 食品メーカー「カゴメ株式会社」との健康や食育
施策などに関する包括連携協定について



奈良県外国人観光客交流館「猿沢イン」前にて
(避難所開設の提案をした猪俣奈良県議とともに)

各調査地の先進的、積極的な取り組みや事例等は大変参考になりました。私は3月の代表質問で行政調査内容を活かし、政策提言等をいたしました。今後も越谷市に相応しい形でまちづくりに反映してまいります。

「猿沢イン」受付



「猿沢イン」の備蓄品。ハラル認定の非常食
(イスラム教で禁忌とされている豚肉由来成分やアルコール不使用品)



市議会議員

ごとう孝江

連絡先

●自宅

〒343-0806 越谷市宮本町 1-66-4 越谷ニューライフ 205
TEL・FAX 048-966-5088

●越ヶ谷連絡所

〒343-0813 越谷市越ヶ谷 3-3-26
TEL・FAX 048-964-3243



ホームページのアドレスは
<http://takae510.jp>

越谷市議会議員 越谷市宮本町 1-66-4 越谷ニューライフ 205 号

ごとう孝江

活動報告 2018年春 ● 第67号

めくもりある越谷を
しくります!



駆け足でやって来た桜の季節が過ぎ、新緑の美しい季節を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

恒例の出羽公園の出羽チューリップフェスタ2018が、4月8日(日)に開催されました。今年は6万本のチューリップが早々と咲いてしまいましたが、お天気に恵まれて多くの方々が来場されました。

さて、平成30年3月定例会は2月21日に開会し、3月16日に閉会しました。私、ごとう孝江は所属会派「立憲民主党と無所属の会」の代表質問に登壇しました。今号は、その代表質問内容を中心にご報告いたします。(2~3頁参照)



▲出羽地区チューリップフェスタ2018
ウォーターチューリップは健気に咲いてきれい!

私は、今後もふるさと越谷のまちづくりに全力投球してまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

今年は例年に比べて季節が不安定に感じます。ご自愛のほどお祈り申し上げます。



▲チューリップフェスタでいただいたチューリップ!

2月28日NHK BSプレミアムで放映(4月14日再放送)▶



◀第二工場 汚泥再生処理センター 竣工式に出席

東埼玉資源環境組合 第二工場 汚泥再生処理センター完成

2月16日八潮市八條に東埼玉資源環境組合の第二工場、汚泥再生処センター愛称「八條キラリ(KIRARI)」が完成し、竣工式典が行われました。この工場では越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町、5市1町のし尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥の処理を行います。また、処理過程で発生する汚泥は、脱水処理をして第二工場ごみ処理施設で助燃剤として有効利用されます。



ごとう孝江 代表質問

2月28日、私、ごとう孝江は7項目について市長、教育長に方針や見解を質しました。その要旨をご報告いたします。

I. 市長公約について

問 高橋市長3期目の公約である3つの基本理念を踏まえた市政運営と、平成30年度の具体的政策は。

答 「安心度埼玉No.1の越谷」、「市民が誇れる越谷」「いきいき活性化する越谷」の理念を実現するため、平成30年度は次の事項を主な重要政策として取り組んでいく。(別表参照)

平成30年度重要政策

＜子育て＞
◦ 保育所・学童保育室の定員拡大
◦ 子どもの貧困対策
◦ 子育て世代包括支援センターの設置
◦ 3か所目の保育ステーションの開設
＜福祉・医療＞
◦ 地域包括支援センターの体制強化
◦ 新保健センター建設
＜産業・雇用＞
◦ 流通・工業系土地利用の推進と周辺整備
◦ 「都市イメージ向上事業」による魅力発信
＜防災・都市整備＞
◦ 道の駅整備
◦ 自家用給油取扱所設置(谷中分署)
◦ 治水対策(内水排除の強化、幹線排水路整備など)
◦ 駅ホームドア整備(北越谷駅、新越谷駅)
＜教育＞
◦ トイレの洋式化の推進
◦ 就学援助制度の新入学生徒学用品費を入学前支給

◆平成30年度 当初予算編成

一般会計	9 1 5 億円
特別会計	6 5 2 億 3 2 0 0 万円
病院会計	1 1 7 億 5 0 0 0 万円
総 額	1 6 8 4 億 8 2 0 0 万円



II. 災害時における避難体制について

問 福祉避難所の位置づけと取り組み状況は。

答 災害時には介護の必要な高齢者や障がい者などの要配慮者の方に対し、二次的な避難所として福祉避難所を開設し救助、救護活動を実施することとしている。主に公共施設を中心に指定し、民間の障がい者支援施設等との協定を進め、23施設を福祉避難所に指定。円滑な開設・運営の福祉避難所開設訓練を初めて実施し、運営マニュアル作成も進めている。今後とも要配慮者の避難支援体制の整備を推進していく。

問 外国人観光客などの増加を見込み、安全・安心なまちづくりとして外国人向けの災害対策の取り組みは。

答 災害時の外国人観光客の支援として、一般の帰宅困難者と同様に公共施設のほか、宿泊施設などの一時滞在施設として協定締結している民間施設に誘導し、受け入れを行う。一方、外国人市民については指定避難場所に受け入れ、支障を来す場合は福祉避難所も検討。避難所等では「災害時多言語情報シート」を活用して情報提供をし、可能な限り通訳・翻訳ボランティアの確保を図る。また、毎年、外国人市民のための防災訓練を開催。本市に安心して訪れ、暮らせる防災支援体制を目指す。

奈良県外国人観光客交流館「猿沢イン」

問 災害ボランティアの取り組みについて



III. 地域包括ケアシステムの推進に向けて

問 在宅医療・介護連携推進に関する事業が埼玉県から越谷市に移行するが、経過と平成30年度の事業は。

答 事業の一つである相談支援は平成28年4月から越谷市医師会により「医療と介護の連携窓口」として設置され、「埼玉県在宅医療提供体制充実支援事業補助金」で運営されている。平成30年度からは市が所管し、越谷市医師会に委託していく。また、窓口の専門性の高さや業務量の増加見込みにより、専門職1名を増員し、専門職2名と事務職1名の体制とする。さらに平成30年度は医療機関や介護保険事業所の専門職向けの研修を実施するなど、業務の充実を図る。引き続き越谷市医師会と連携を図りながら、医療と介護の連携の推進に取り組む。

IV. 教職員の働く環境整備について

問 教職員の事務負担軽減を目的とした事務作業補助員「スクール・サポート・スタッフ」の取り組みは。

答 平成30年度、小中学校各1校をモデル校として、それぞれ1名ずつ計2名のスクール・サポート・スタッフを配置し、学習プリントなどの印刷や配布準備等に関する事等、どのようなサポートが教職員の負担軽減に効果的か、学校の実情に応じた教職員の事務作業等の軽減について検証していく。

V. 越谷市公共施設等総合管理計画について

VI. 健康づくりの推進について

議会報告

3月定例議会

平成30年3月定例議会では市長提出議案83件が上程され、すべて同意、認定、可決されました。

主な議案

- 越谷市公平委員会委員の選任について 大里定則氏
- 越谷市農業委員会委員の任命の同意について 14名
- 越谷市固定資産評価審査会委員の選任について 中村恭之氏、大沢昌太郎氏
- 越谷市介護保険条例の一部改正について 第1号被保険者(65歳以上)の介護保険料の見直し。(平成30年度～32年度) 平成30年4月1日から施行 <基準額>月額4490円⇒月額4700円
- 越谷市介護医療院の人員、施設及び整備並びに運営に関する基準を定める条例制定について 平成30年4月1日から施行
- 越谷市重度心身障害者手当支給条例の一部改正について 平成28年6月定例議会の請願採択に伴う改正。平成30年7月2日から施行
- ・新たな対象者及び手当額 精神障害者保健福祉手帳2級所持者、月額3500円
- 越谷市手話言語条例制定について 手話についての基本理念を定め、手話に関する施策を推進し、全ての市民がともに生きることのできる地域社会の実現に寄与を目的とする。 公布の日から施行

「越谷市自殺対策推進条例」の制定に向けて

国では自殺対策基本法を改正し、その取り組みを強化し、各自治体においても平成30年度までに「自殺対策計画」を策定することとしています。

本市においても年間50～60人が自殺により命をなくしている現状を鑑み、私は、越谷市議会議員有志による自殺対策研究会のメンバーとして「越谷市自殺対

策推進条例案」の策定を進めてまいりました。条例案では、自殺対策を総合的且つ計画的に推進し、すべての市民がかけがえのない命を大切に、誰もが自殺に追い込まれることのない社会を目指しています。

条例案は、次の6月定例議会に議員提出の条例案として提出する予定です。